

2025 年 7 月 23 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ン ジ ブ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 々 木 満 秀
(コード番号：142A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 新 田 圭
(TEL 03-6821-7779)

高校生のための職業体験イベント「おしごとフェア 2025」 開催レポート公開のお知らせ

株式会社ジンジブ（本社：大阪府大阪市中央区、代表取締役社長：佐々木 満秀）は、2025 年 5 月から 6 月にかけて全国 19 会場で、高校生のための職業体験イベント「おしごとフェア 2025」を開催しました。本イベントには、過去最多となる 6,002 名の高校生が参加し、多岐にわたる業界から 576 社の企業が出展しました。本イベントの開催レポートを公開いたしましたのでお知らせいたします。

■「おしごとフェア 2025」開催実績

今年で 4 年目を迎える「おしごとフェア」は、高校生が実際に仕事を体験し、働く大人と直接交流することで、職業への理解と興味関心を深めることを目的としたイベントです。

- ・開催期間：2025 年 5 月 8 日(木)～6 月 23 日(月)
- ・開催エリア数：19 会場
- ・出展企業数：576 社（前年 389 社）
- ・参加生徒数：6,002 名（前年 3,167 名）

各会場では、多様な業界の地元企業がブースを構え、来場した高校生に様々な交流や“体験”を提供し、早期の段階から自社の事業内容や働き方を深く理解してもらう貴重な機会となりました。

■高卒採用市場の課題解決とジンジブの貢献

高卒採用は高い求人倍率で注目される一方、厚生労働省の調査では就職後 3 年以内の離職率が 38.4%と高く（※）、ミスマッチのない就職支援が不可欠です。当社では「おしごとフェア」を通じて、高校生に「将来のキャリアを考えるきっかけ」と「社会理解の機会」を提供しています。早期離職の課題解決に貢献し、高校生のキャリア教育を強力に推進しています。

今後も、ジンジブはこのような機会の創出を継続し、高校生が自分に合った職業を選べる環境を整えることで、若年層のキャリア形成支援と企業の人事課題解決に貢献してまいります。

掲載記事の詳細につきましては URL をご確認ください。

「おしごとフェア 2025」開催レポート

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000206.000048030.html>

■問い合わせ

株式会社ジンジブ IR 担当

メールアドレス：ir@jinjib.co.jp

以 上

高校生のための職業体験会「おしごとフェア 2025」開催レポート

企業で働く人との交流や“体験”で若者のキャリア形成を支援

高校生の就職を支援する「ジンジブ」(大阪市)は、5月と6月に全国19会場で高校生のための職業体験会「おしごとフェア」を開催いたしました。「おしごとフェア」は今年で4年目の開催となる、高校生と企業の交流イベントです。高校生の職業への理解を深め、興味関心を高めることを目的に、仕事体験を通じて、自らの適性や興味を発見する機会を提供しました。

本イベントでは各会場で地元企業を中心に多様な業界の576社が出展し、6,002名の高校生が来場しました。

当日の様子と参加した企業や生徒の声をレポートいたします。



<「おしごとフェア 2025」とは>

高校生のためのおしごと体験イベントです。地域の企業と高校生が1つの会場に集まり、実際のおしごと体験や働く大人とのコミュニケーションを通し職業理解と興味関心を深めるきっかけをつくるイベントです。

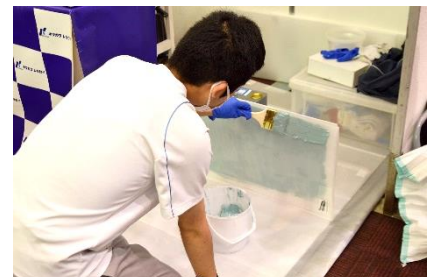
<「おしごとフェア 2025」当日の様子>



▲コーディネート組み、撮影体験 (アパレル業・熊本会場)



▲口腔内の水を吸い取る体験 (医療業・岐阜会場)



▲防水加工の体験 (建設業・新潟会場)



▲左官体験 (建設業・熊本会場)



▲工事現場でのハーネス装着体験 (建設業・福岡会場)



▲フラワーアレンジメント体験 (サービス業・福岡会場)

【本件に関する取材の問い合わせ先】

株式会社ジンジブ 広報：佐藤 (TEL 070-1686-0594) E-mail: pr@jinjib.co.jp

<「おしごとフェア 2025」開催実績>

開催期間：2025 年 5 月 8 日(木)～6 月 23 日(月) 13:30～17:00

出展企業数：576 社 ※複数会場に出展する企業は複数カウントされております

参加生徒数：6,002 名

主な参加業界：サービス業、物流（運送）業、建設業、製造業、飲食業、介護業、警備業、小売・卸売業、美容業、その他

開催スケジュール：

- ①5 月 8 日（木）大阪会場：OMM
- ②5 月 15 日（木）仙台会場：仙台市中小企業活性化センター AER
- ③5 月 15 日（木）長崎会場：出島メッセ長崎（初）
- ④5 月 16 日（金）広島会場：NTT クレドホール
- ⑤5 月 23 日（金）熊本会場：熊本城ホール
- ⑥5 月 23 日（金）静岡会場：グランシップ（初）
- ⑦6 月 3 日（火）名古屋会場：吹上ホール 第 1 ファッション展示場
- ⑧6 月 6 日（金）岡山会場：岡山コンベンションセンター（初）
- ⑨6 月 10 日（火）岐阜会場：岐阜市文化センター（初）
- ⑩6 月 10 日（火）京都会場：みやこめっせ
- ⑪6 月 11 日（水）兵庫会場：神戸サンボーホール
- ⑫6 月 12 日（木）神奈川会場：横浜産貿ホール マリネリア
- ⑬6 月 12 日（木）島根会場：くにびきメッセ（初）
- ⑭6 月 13 日（金）奈良会場：奈良県コンベンションセンター（初）
- ⑮6 月 13 日（金）埼玉会場：さいたまスーパーアリーナ
- ⑯6 月 16 日（月）栃木会場：ライトキューブ宇都宮
- ⑰6 月 18 日（水）福岡会場：博多国際展示場&カンファレンスセンター
- ⑱6 月 18 日（水）新潟会場：朱鷺メッセ（初）
- ⑲6 月 23 日（月）東京会場：アキバスクエア

長崎、静岡、岡山、岐阜、島根、奈良、新潟の 7 会場でおしごとフェアが初開催でした。

過去最高の 19 会場で開催し、昨年のおよそ 2 倍の約 6,000 名を超える高校生に参加いただきました。

<「おしごとフェア」の開催背景>

昨今、高校生の採用は求人倍率が高くなり注目を集めていますが、早期離職率が高いことが課題視されています。

厚生労働省の調査によると、就職後 3 年以内の新規高卒就職者の離職率は 38.4%（前年度と比較して 1.4 ポイント上昇）と報告されており（※）、ミスマッチのない就職活動支援やキャリア教育支援、職場定着支援がより一層必要とされています。

中でも、高校生が短期間の就職活動の中で適切な情報を得ることは難しく、自らのキャリアについて深く考えるきっかけが不足しているのが現状です。当社では、このような課題を解決するために、「将来のキャリアを考えるきっかけ」と、高校生と企業が早い時期におしごと体験を通じたコミュニケーションをとる「社会理解の機会」をつくることで、高校生向けのキャリア教育を推進しております。

今後も高校生に向けた活動を続け、彼らが自分に合った職業を選べるような環境を整えていきます。本イベントをきっかけに、多くの高校生が「高卒での就職も良い選択肢である」と感じてくれることで、社会全体に良い影響をもたらすことを目指しています。

※参照：厚生労働省「新規学卒就職者の離職状況(令和 3 年 3 月卒業者)」

【本件に関する取材の問い合わせ先】

株式会社ジンジブ 広報：佐藤（TEL 070-1686-0594） E-mail：pr@jinjib.co.jp

<関係者コメント>

■出展企業

・サービス業 埼玉会場

想像以上に高校生が真面目に話を聞いてくれることに驚きました。私自身を振り返ると高校生の時に就職活動なんてできなかったですし、企業の話も真面目に聞けなかったと思います。

自社の高卒社員に日頃からたくさん感謝を伝えようと思いました。

・物流（運送）業 静岡会場

高卒人材の素晴らしいところは元気があって素直なところだと思います。今年も着座してくださったような生徒が入社してくれることを願います。

■参加した生徒

・高校3年生・男性（仙台会場）

就職か進学かでまだ迷っているのですが、就職することが意外と怖くないということをおしごと体験を通じて実感できました。帰って親と進路について相談してみようと思います。

・高校2年生・男性（神奈川会場）

元々介護業界に興味があったので、介護業界のブースを中心に回りました。

同じ介護職でも会社によって違いがあって自分の中で色々考えるのが楽しかったです。

・高校3年生・女性（埼玉会場）

正直就職することに対してマイナスなイメージがあり、就職という進路は嫌だったのですが、今日来て実際のおしごとを体験してみて意外と楽しそうだなと思いました。

自分の中での「就職」というイメージが少し変わったので、進路決定までじっくり考えたいと思います。

■ジンジブ 初開催会場 会場責任者より

・株式会社ジンジブ 静岡支店長 細野 舞夏

静岡県の中小企業は、やりがいのある仕事を担っていますが、慢性的な人材不足に悩んでいます。多くの企業は若手人材の採用を難しいと捉えています。しかし地元の伝統を守るためにも、若者が「地元で働きたい」と思える環境を整えるため高卒採用をご提案しています。

静岡支店の設立から1年が経ち、静岡県で初めての「おしごとフェア」を開催できたことを嬉しく思います。このイベントを通じて、地元の高校生に職業理解の機会を提供し、高校生が自らの目を見て体験することで、進路選択のきっかけを作ることができました。より多くの機会を提供することが、ジンジブ静岡支店の使命です。

今後は「働くとは。」をテーマに、県内の高校で職業理解の授業を行いたいと考えています。進学先の選択は就職に大きな影響を与えるため、自らの教員経験を生かし、生徒や教員への支援を提供したいです。ジンジブが静岡県内の高校にとって必要不可欠な存在を目指して尽力します。

・株式会社ジンジブ 岡山支店長 大道 篤

岡山では、昨年の7月に開催した高校生向けのジョブドラフト Fes に引き続き、岡山では初めておしごと体験イベント「おしごとフェア」を6月6日（金）に岡山コンベンションセンターにて開催しました。

中国地方の中では就職を希望する高校生が多い岡山県ですが、このような高校生向けのイベントがなかったこともあり269名の高校生が参加していただきました。たくさんの高校生が笑顔にあふれ、様々な仕事を体験しながらその魅力を感じ、今まで知らなかった世界に触れ、理解を深めることが出来た一日になったと思います。

この一日が、これからの自分のキャリアを考える一つのきっかけになれば、私たちも嬉しく思います。

【本件に関する取材の問い合わせ先】

株式会社ジンジブ 広報：佐藤（TEL 070-1686-0594） E-mail：pr@jinjib.co.jp



▲コーティング加工体験（カーメンテナンス業・静岡会場）

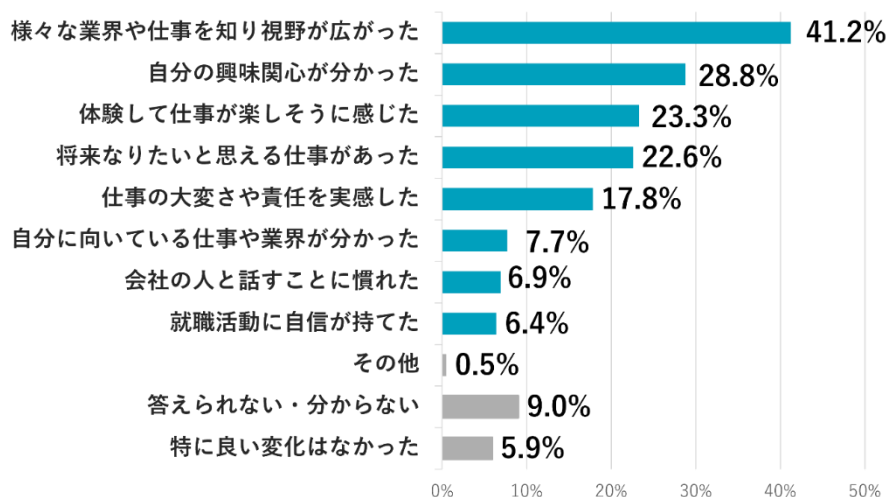


▲布の色染め体験（製造業・岡山会場）

<参加した高校生へ行ったアンケート>

体験を通してどんな心境の変化がありましたか？

※複数回答可（n=1746）



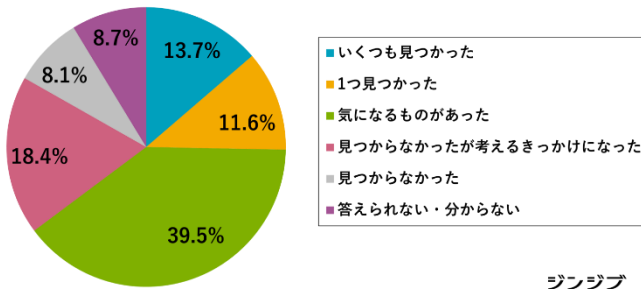
「おしごとフェア」に参加しアンケートに回答した高校生の77.9%が「良い変化や新しい気づきがあった」と回答し、どんな変化があったかという質問で、41.2%がおしごと体験を通して「様々な業界や仕事を知り視野が広がった」と回答しました。次に「自分の興味関心が分かった」（28.8%）、「体験して仕事を楽しそうに感じた」（23.3%）と参加して良いイメージがあったと回答しました。

実際の仕事を体験してみて、今までの自分自身の中での企業や業界へのイメージが変わり、「就職」や「仕事」に対して前向きなイメージになっていることが分かります。

【本件に関する取材の問い合わせ先】

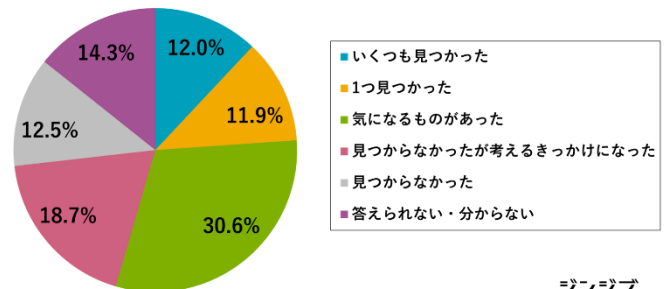
株式会社ジンジブ 広報：佐藤（TEL 070-1686-0594） E-mail：pr@jinjib.co.jp

将来に就きたいと思える職業は見つかりましたか？ (n=1746)



ジンジブ

インターンシップ（企業で実際の仕事や業務を体験）に参加したいと思える会社は見つかりましたか？ (n=1746)



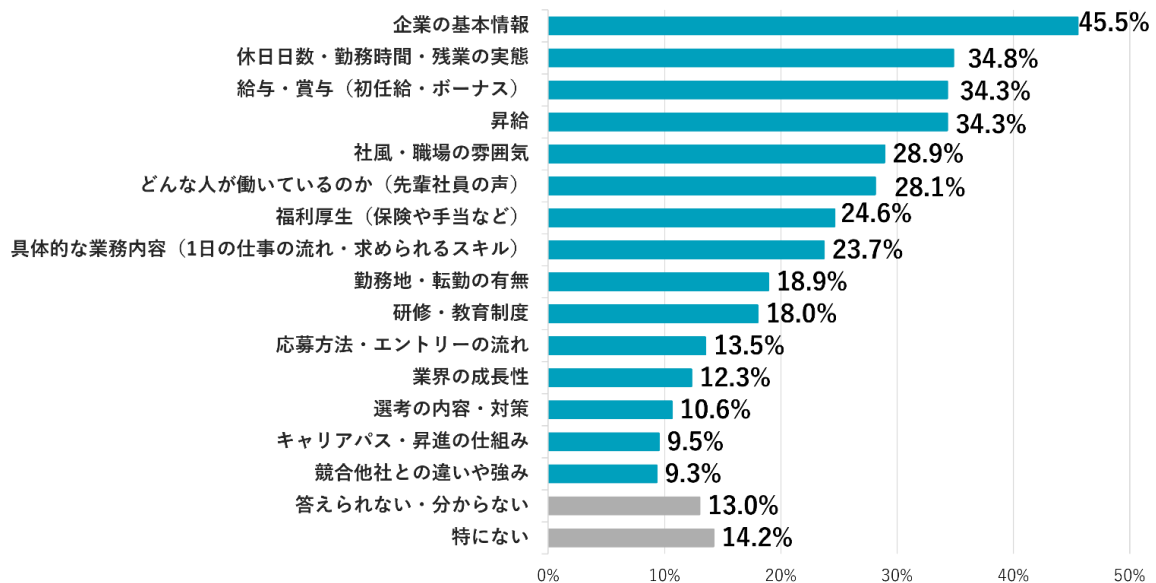
ジンジブ

「おしごとフェア」に参加し「将来に就きたいと思える職業は見つかりましたか？」のアンケートに「いくつも見つかった」「1つ見つかった」「気になるものがあった」と回答した人は合計で64.8%でした。

「インターンシップ（企業で実際の仕事や業務を体験）に参加したいと思える会社は見つかりましたか？」のアンケートに「いくつも見つかった」「1つ見つかった」「気になるものがあった」と回答した人は合計で54.5%でした。

どちらも実際に企業の話聞くことで興味関心の幅が広がり、働くことに対してポジティブな姿勢に繋がっているといえます。

就職活動ではどんな情報が知りたいと思いますか？※複数回答可 (n=1597)



「おしごとフェア」に参加しアンケートに回答した高校生の45.5%が、就職活動では「企業の基本情報」が知りたいと回答しました。次に「休日日数・勤務時間・残業の実態」(34.8%)、同率で「給与・賞与（初任給・ボーナス）」「昇給」(34.3%)と続きます。基本的な求人情報が上位になっていますが、その次に知りたいこととして、「社風・職場の雰囲気」(28.9%)、「どんな人が働いているのか（先輩社員の声）」(28.1%)となりました。

高校生にとって「就職」という進路は未知の情報です。そのため企業の様々な視点から良い面・悪い面を知ることで、自分の中で「就職」に対するイメージを持つことができ、仕事への期待や自分自身で何ができるかを考えるきっかけになります。

◆調査概要

【調査期間】 2025年5月8日(木)～6月23日(月)

【調査対象】 「おしごとフェア2025」に参加した高校生

【調査会場】 「おしごとフェア2025」を開催した全19会場

【有効回答数】 n=1,746名（うち就職希望816名）

【本件に関する取材の問い合わせ先】

株式会社ジンジブ 広報：佐藤（TEL 070-1686-0594） E-mail：pr@jinjib.co.jp

<会社概要>

■ 株式会社ジンジブ

ジンジブは「高卒」の若者のための社会課題解決企業です。同じく「高卒社長」である佐々木が、「夢は、18才から始まる。」をスローガンに掲げて事業をはじめました。高校生のキャリア教育や、就活の情報提供、就職後の定着やスキルアップやキャリア形成、転職時の情報提供やサポートを行います。

代表取締役社長：佐々木 満秀（ささき みつひで）

本社所在地：大阪府大阪市中央区南本町 2-6-12 サンマリオンタワー14 階

拠点：大阪本社・東京・福岡・名古屋・仙台・広島・新潟・岡山・熊本・静岡

設立：2015 年 3 月 23 日（グループ創業 1998 年 9 月 1 日）

株式情報：東京証券取引所 グロース市場（証券コード：142A）

HP：<https://jinjib.co.jp/>

●高卒就活採用支援サービス 「ジョブドラフト」

高卒新卒で就職する高校生は、限られた情報や期間の中で、社会経験や自己理解の機会など、やりたいことや向いていることを考える期間が少ない中、就職先を選んでおり、将来に対して漠然とした不安を抱えています。

情報不足、理解不足などで納得できる企業選択ができず就職し、入社後にギャップを感じてしまうことが、入社 1 年目の「超早期離職」の要因の一つといえます。

将来について考えるきっかけを与えるキャリア教育支援「ジョブドラフト Career」や、これまでは文字情報のみの求人票でしか収集できなかった求人情報を、高校生に向けた発信をする就職情報アプリ「ジョブドラフト Navi」や、高校生のための合同企業説明会「ジョブドラフト Fes」を運営し高校生が自分の意思で未来を形作るためのサービスを展開しております。

また、卒業後の生徒には、高卒第二新卒や既卒者へのリスキリングと就職・転職を支援する「ジョブドラフト School」「ジョブドラフト Next」を運営し、社会に出た後にも寄り添っております。

●人材育成サービス

社会人として必要となる基礎スキルやマインド、DX を始めとしたこれからの社会で必要になるスキルの学び直しの講座を開発し、高校生や高卒社会人が人生 100 年時代の中、キャリアアップを実現するためのサポートを運営しております。

Z 世代の採用育成を行う企業向けには、入社後の定着のための研修「ROOKIE'S CLUB（ルーキーズクラブ）」を行っています。デジタルマーケティング講座「DMU」などのスキルアップ講座も提供し、企業発展を促す若手人財の育成を支援してまいります。

●人事支援サービス「人事部パック」

これまでの「高卒採用」の支援にとどまらず、「採用戦略策定」「教育」「定着」「評価」「福利厚生」など、中小企業の「人的資本経営」を支える人事にまつわる業務のサポートをする月額サービスです。日本の根幹を支える中小企業にとっての「人事部」としてのパートナーとなり企業の成長をサポートします。

【本件に関する取材の問い合わせ先】

株式会社ジンジブ 広報：佐藤（TEL 070-1686-0594） E-mail：pr@jinjib.co.jp